

# 萌黄 (もえぎ) 通信



みなさん、お元気ですか？  
パツとしない天気が続いていますが、いつの間にか梅雨が明けてしまいましたね。  
いつもなら、雷雨を受けてから梅雨明けのパターンが多かったのに拍子抜けです。

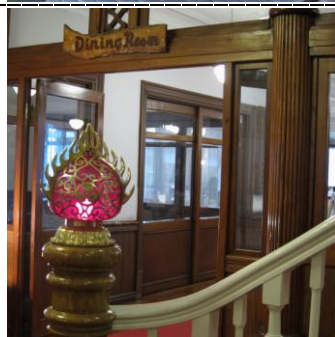
これからは、本格的な夏入りで、暑さ対策を万全にしないとマズいですね。現場に行く時も、営業に行く時も、常にペットボトルを身近におくように心がけています。更に、夜にはビールで渴きを潤している堀内貢次です。美味しい季節になりましたね。それでは今月もよろしくお願い致します。

## 「築140年のリゾートホテル」

先日、栃木県の日光市近くで、現場調査がありました。その後の打合せを140年の歴史のある「日光金谷ホテル」のコーヒーラウンジで行いました。打合せ中に日本最古の洋式ホテルと知り館内をいろいろ見て回



って写真を撮ってきました。ランプや調度品が当時のまま使われていて、とても落ち着くホテルです。また、歴代の行事の様子や、泊まった有名人などが写真で展示されていて有意義な時間を過ごせました。



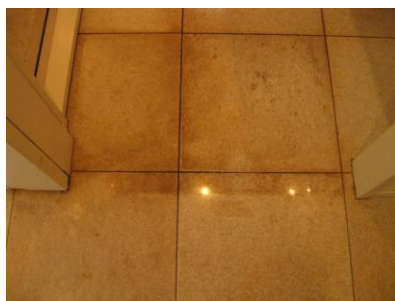
こんどは、宿泊でのんびりしたくなりました。

## 「白御影石に付いた、ペット等の生活シミ」

ある賃貸マンションの廊下が白御影石で出来ているのですが、ペットを飼っていたり、キッチンの流しの近くだったりして、生活によるシミが経年変化で、目地周辺を中心に茶色いシミに変色してしまった現場からです。

何年間、生活していたかは分かりませんが、直線的なシミの線が出ているので、何かマットなどを敷いていたようで、その下にシミになるようなものが溜まって、時間をかけて、石目に入り込み乾燥していくうちに変色してしまった感じのシミになっています。こうなると、一般的な表面洗浄だけでは、汚れやシミは取りきれないので、まず、強めの洗剤で石の表層の目を出来るだけ開いてあげて、それからシミ抜き剤

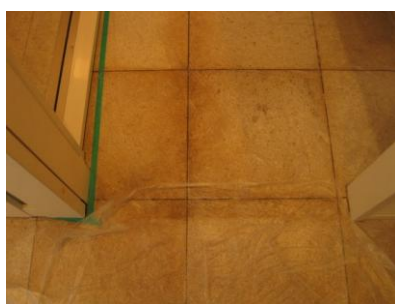
を塗布してラップします。何度かシミ抜き剤を乾燥しないように補充しラップからシミが抜けたのを確認し完了とします。(完了写真は、数日後で、自然光になってしまいました)



1. ペット等による生活シミ



2. シミ抜き剤塗布



3. 乾かないようにラップする



4. 油シミ抜き完了後

## 「外壁洗浄後の玄関御影石のツヤボケ」

玄関の外部の床部分に赤い御影(マホガニー)の本磨き仕上げが敷いてあるのですが、外壁がタイルで、タイル洗浄時に養生が甘かったせいか、外壁用洗剤が石の上に掛かってしまい、御影石の色が抜けてしまったようです。幸いにも、ツヤボケがなかったもので、石用の濃タイプのウェットコート塗布して全体を仕上げていきます。



(編集後記) 日光の現調の帰りに華厳の滝を見てきました。小学校の修学旅行以来で、とても小さい滝に見え意外でした。体も小さいから、当時は大きく見たのかな～？

萌黄通信 毎月1回発行

発行編集責任者 (株)ケイ・アンド・エス 堀内貢次(ほりうちこうじ)

(東京出張所) 東京都港区浜松町1-1-10 5F タスク内

(電話) 03-3431-1293 (Fax) 03-3431-7198

<http://www.e-kands.jp>

(メール) [info@e-kands.jp](mailto:info@e-kands.jp)